

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術の振興と発信		課(室)名	美術館美術課
	施策	文化芸術の振興		電話番号	087-823-1711
	基本事業	文化芸術施設の整備と機能の充実		事業実施主体	市
	事務事業	美術館運営事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	市民に優れた芸術を鑑賞できる機会を提供するため、美術館主催展として常設展及び特別展を開催するとともに、エントランスミニコンサートなどの催し物を開催する。				
30年度概要	市民に優れた芸術を鑑賞できる機会を提供するため、開館30周年を記念した特別展や記念イベント、また収蔵品を活用した常設展を開催するとともに、エントランスミニコンサートなどの催し物を開催する。また、塩江美術館では、主に地元ゆかりの美術作品を鑑賞する企画展や常設展を開催するとともに、コンサート等の催し物を開催する。なお、改修工事に伴う休館を予定している。 *特別展については「開館30周年記念事業」にて計上している。				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）		

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	魅力ある展覧会の開催により、より多くの来館者に芸術に親しんでもらう。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
高松市美術館主催展覧会数	回		11	9	9	9

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
高松市美術館主催展入場者数	人	目標値		60,000	60,000	60,000	60,000
		実績値		62,987	80,204		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 蜷川実花展が作家の知名度に加え、展示撮影許可及びSNS拡散呼びかけにより3万人近い入場者数を記録した為入場者数が例年より大幅に増え、目標値を達することができた。もっとも内容が優れかつ入場者数も稼げる展覧会はごく稀であり、そのような展覧会を毎年開催することは困難であることに留意する必要がある。		(目標達成度)					(達成度) 133.7% 35点
高松市美術館主催展入場者数	人	目標値		60,000	60,000	60,000	60,000
		実績値		62,987	80,204		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 魅力的な展覧会ラインナップのため、様々な世代の鑑賞者に満足してもらい、高い評価をもらうことができた。		(目標達成度)					(達成度) 102.4% 35点
展覧会鑑賞に満足した人の割合	%	目標値		85	85	85	85
		実績値		84	87		

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	45,526	99,126	84,326	27,840
（事業費）	[円]	27,869	79,498	65,358	8,872
（職員人件費）	[円]	17,657	19,628	18,968	18,968

【評価】

評価ランク (A～D)	<b>A</b>	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	<b>継続</b>
-------------	----------	---------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

蜷川実花展は出品作家が若者を中心に圧倒的な人気があり、SNS広報効果もあり、入場者数が多く、それに伴い特別展・常設展の総入場者数が増えた。今後も様々なタイプの展覧会を開催する中で、質と集客力を備えたものを開催できるよう努めるが、この類のものを毎年ラインナップに入れることは困難であることに留意する必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

事業経費のスリム化に努めるとともに、市民ニーズに即した展覧会事業を開催する。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術の振興と発信		課(室)名	文化財課
	施策	文化芸術の振興		電話番号	087-861-4502
	基本事業	文化芸術施設の整備と機能の充実		事業実施主体	市
	事務事業	菊池寛記念館管理運営事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	郷土が生んだ文豪「菊池寛」を顕彰し、菊池寛や寛が創設した芥川賞・直木賞等に関する資料の収集、保管及び展示を行い、後世に伝えるとともに、市民の教養の向上と市民文化の発展に寄与する。				
30年度概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>菊池寛記念館常設展示</li> <li>菊池寛や芥川賞・直木賞等に関する資料の収集・保管及び展示</li> <li>菊池寛関連資料の複製制作</li> </ul>				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等維持管理		


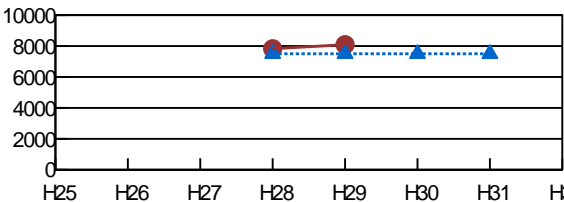
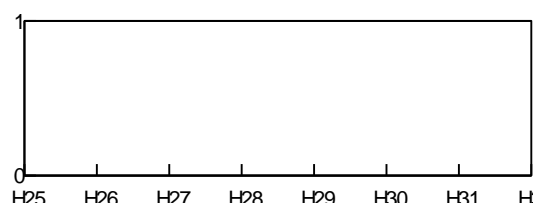
【事業の目的】

対象(何を)	市民(小学生から高齢者)
意図(どのような状態にしたいか)	郷土が生んだ文壇の大御所「菊池寛」を顕彰し、市民の教養の向上と市民文化の発展に寄与する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
菊池寛記念館開館日数	日		308	308	307	308

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
菊池寛記念館利用者数(常設展, コレクション展)	人	目標値		7,500	7,500	7,500	7,500
		実績値		7,825	8,089		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) ほぼ1か月ごとに、魅力あるテーマでミニコレクション展を企画したことにより、利用者数は目標を上回った。 			(達成度) 107.9%				
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)			(達成度)				

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	20,516	20,394	19,763	20,094
(事業費)	[円]	12,839	12,543	12,176	12,507
(職員人件費)	[円]	7,677	7,851	7,587	7,587

【評価】

評価ランク (A~D)	<b>A</b>	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	<b>継続</b>
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
菊池寛の業績を顕彰し、市民の教養の向上と市民文化の発展に寄与するため、菊池寛や寛が創設した芥川賞・直木賞等に関する資料の収集、調査研究、保管及び展示を実施するなど、後世に伝える適切な管理運営を行った。さらに、29年度は新発見資料の公開を行い、菊池寛の新たな周知ができた。ただし、時代の経過とともに、文豪「菊池寛」としてのイメージが少しずつ薄れてきている。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
関連資料の収集・整理に努め、新たな菊池寛の魅力発見に努めるとともに、メモリアルイヤーなどの時機を捉え、菊池寛とともに記念館を市民に広く周知する。			

平成 30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術の振興と発信		課(室)名	美術館美術課
	施策	文化芸術の振興		電話番号	087-823-1711
	基本事業	文化芸術施設の整備と機能の充実		事業実施主体	市
	事務事業	美術館資料収集事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	美術館の取得方針に基づき、美術館に収蔵する美術品を計画的・系統的に購入するとともに、リニューアルオープン以降、さらに高松市の文化芸術の発信拠点の一つとなるべく、より優れた美術品等購入によりコレクションの拡充を図る。また、美術図書及び映像資料を継続的に収集する。				
30年度概要	美術館の取得方針に基づき、美術館に収蔵する美術品を計画的・系統的に購入する。特に開館30周年記念の年であることから、さらに高松市の文化芸術の発信拠点の一つとなるべく、より優れた美術品等購入によりコレクションを拡充する。また、美術図書及び映像資料を継続的に収集する。				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）		


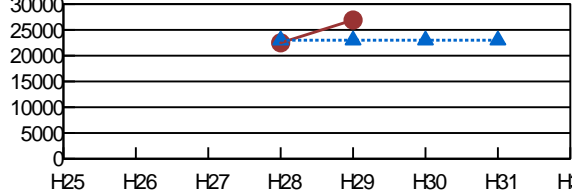
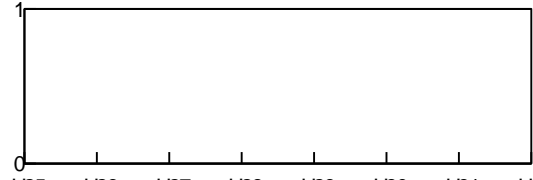
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	文化芸術の拠点として、優れた美術作品を購入、展示公開することによって、来館者の満足度が増加する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
美術品購入点数	点		4	9	20	20

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
高松市美術館常設展入場者数	人	目標値		23,000	23,000	23,000	23,000
		実績値		22,492	26,914		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 美術品を購入し、それらを収蔵品展や常設展で展示活用することによって、文化芸術活動の推進に努めることができる。 							(達成度) 117.0%
							35点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（決算）	平成 30年度（予算）
トータルコスト	[円]	30,339	20,248	21,081	19,834
（事業費）	[円]	21,894	11,612	12,735	11,488
（職員人件費）	[円]	8,445	8,636	8,346	8,346

【評価】

評価ランク（A～D）	<b>A</b>	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	<b>継続</b>
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 優れた美術品を収蔵及び公開することで高松市の文化的ブランドを高める。作品の魅力を引きだす見せ方、広報活動が課題となる。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 人件費や、諸雑費を精査し、効率の良い事業経費の支出を目指すとともに、収蔵品の拡充を図る。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術の振興と発信		課(室)名	美術館美術課
	施策	文化芸術の振興		電話番号	087-823-1711
	基本事業	文化芸術施設の整備と機能の充実		事業実施主体	市
	事務事業	高松市美術館開館30周年記念事業		事業期間	平成29年度～平成30年度

【事業全体概要】

事業の概要	市民に優れた芸術を鑑賞する機会を提供するため、開館30周年を記念して、美術館主催展5展及び記念講演会等のイベントを開催すると共に、収蔵品図録の発行、増加する外国人対応のパンフレット発行及び隣接する商店街との連携により、美術館や芸術をより親しみのあるものにする。				
	30年度概要 開館30周年を記念して、美術館主催展5展のほか、著名な美術批評家等をパネラーに招いた記念講演会や音楽コンサート等の記念イベントを開催すると共に、平成20年度以降に収蔵した作品を掲載する「収蔵品図録」の発行、そして、美術館の立地を活かし、隣接する商店街と連携事業を展開することで、美術館や芸術をより親しみのあるものにする。				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	5-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	開館30周年を記念した魅力ある展覧会やイベント等を実施することにより、様々な世代の市民等来館者に美術館及び芸術に親んでもらう。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
記念特別展覧会数	回				5	

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
		記念特別展入場者数	人	目標値				49,000
	実績値							
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
	展覧会の鑑賞や美術に関わるイベント等の参加を通して、多様な芸術表現に触れることで、文化的で心豊かな生活を送る。 （目標達成度）							
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		目標値					
	実績値							
	達成度							(達成度)
	（目標達成度）							

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]			626	104,037
（事業費）	[円]			626	73,689
（職員人件費）	[円]				30,348

【評価】

評価ランク (A～D)	<b>A</b>	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	<b>拡充</b>
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
開館30周年記念事業の準備及びキックオフイベントをつつがなく実施及び開催することができ、30周年への機運を高めることができた。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
開館30周年を契機に高松市美術館の魅力を国内外に向け発信していくことで、本市の文化芸術の振興につなげていく。			